



CHALLENGER

[挑戦者たち] 17



Gin no Basyamichi

銀の馬車道

今年で開坑千二百年を迎えた生野銀山
その永い歴史の中には繁栄を支えた人々がいた
生野から姫路・飾磨港の輸送路「銀の馬車道」
近代化の礎を築いた男たちのドラマに迫る

プロローグ

朝来市生野町口銀谷地区。漆喰塗りの邸宅や、明治期の近代化を支えた産業遺産が数多く残る。言わずと知れた「銀山の町」。鉱山町独特の落ち着いた町並みは、訪れた人々を束の間の時間旅行へ誘い出す。

旧生野鉱山庁から市川沿いに西へ進むと、本町通り。白壁の土塀が美しい鉱山住宅が視界に入ってくる。日本最古の社宅とされる旧鉱山庁の官舎跡だ。

本町通りを左折し、鍛冶屋町通りを南へ。昭和の雰囲気漂わせるレトロな看板と古い建物。まるでタイムトンネルのような町並みをくぐり抜けると、モダンな欄干が目を引き「盛明橋」が佇む。

建設当時(明治8年架設)は木製

の橋だったが、昭和5年に永久橋へと架け替え。その後再び、平成11年に老朽化のため架橋工事が行われ、現在は3代目となる。

橋のたもとには、馬車をかたどったモニュメント。そこには、この橋が生野鉱山から播州飾磨港(現姫路港)、延長約12里(約48・8キロ)を結ぶべく建設された「生野鉱山寮馬車道(生野銀山道)」の一角であったと書かれている。

さらに橋の名は、明治の完成当時、生野鉱山長であった朝倉盛明に由来すると続いている。

「生野鉱山寮馬車道」と「朝倉盛明」。旧鉱山庁を起点とし、瀬戸内海へ通じるこの馬車道には、欧米の先進国に追いつくため、明治の近代化に生命を捧げた男と、それを支えた人々の苦難の物語があった。



夢、予約できますか？

来春には進学？ その夢ひとつ、予約しませんか？

オープンキャンパスで、約80のうち興味ある模擬授業に参加する。自分だけの好奇心を進路決定にいかすチャンスです。

「BAIKAに興味がある!」と高校の先生に伝えてください。進路決定に今のガンバリがいけるチャンスかも。

さあ夢と希望が実感できるBAIKA発未来行き、ご期待ください。

<http://www.baika.ac.jp/>



オープンキャンパスにてあなたの好奇心にお応えする約80の模擬授業*を特別開講します。(※6/30以外の5日間)

2007 6/30(土) 7/21(土) 8/4(土)
開催日 8/18(土) 8/25(土) 9/29(土)

講座内容・開講時間等、詳しくは左記梅花ホームページをご覧ください。

入学説明会 入学説明会も各地域にて開催中。まずは、お近くの会場へお越しください。
6/6(日) マリアージュ玉姫館福知山 9時開講 6/23(日) ホテル甲子園 10:00~13:00
6/11(日) クラウンプラザ神戸 15:30~18:30 7/12(日) 明石市立産業交流センター 14:00~17:00
6/17(日) 神戸サンポートホール 13:00~17:00 9/予定 じばしんTAJIMA 15:30~18:30

交通/JR京都線「茨木」駅からスクールバス運行(無料)キャンパスまで約20分
◎所在地:大阪府茨木市都久原2-19-5

お問い合わせ Tel. 072-643-6566

あなたの可能性と一緒に探したい。
梅花女子大学 / 大学院
BAIKA 1878 梅花女子大学短期大学部



明治時代当時の最新技術が導入された「生野鉱山寮馬車道(銀の馬車道)」



史跡 生野鉱山(生野代官所門)

栄枯盛衰

開坑は大同2年(807)と伝わる生野銀山の永い歴史。江戸時代に入ると、銀山は繁栄の時を迎えた。徳川幕府が安定政権をしき、生野の地を天領として直轄支配にすると、本格的な鉱山開発が行われた。

この時代に様々な鉱脈が発見され、数多くの人々が銀を目当てに入りを繰り返したという。

江戸時代中期、宝永2年(1705)には、「御所務山」という、鉱山に対する最高位の称号が与えられ繁栄を極めた。幕府の江戸の蔵に銀を納めるため、馬を66頭も使って運んだという記録も残る。

しかし、幕末の混乱期に入ると、事態は一変。力の衰えた徳川幕府は、慶応3年(1867)、突然、鉱山の廃止を命じる。

当時、人口約4千人の8、9割が鉱山の仕事に従事していたといい、人々の生活はたちまち困窮した。鉱山の技術者たちは鉱石を求めて、山を去っていく。

ある鉱山師は、「鉱山はとまり、荷蔵に鉱石がありながら売れることも、精錬することもできず、鉱山は火の消えたようになつた」と嘆いた。

隆盛を誇った徳川幕府の時代が終

わり、明治維新へ。生野鉱山に関わる人々は、先行きの見えない闇の中で不安を抱いていた。

命がけの談判

時代の混乱期の中、かつての活況を取り戻すため、明治元年、新政府の命を受け、一人の男が生野鉱山へ赴任してきた。

男の名は朝倉盛明。元薩摩藩士である彼は、江戸時代、藩の密命により、国禁を侵して海外留学を経験。ロンドン、パリを遊学し、鉱山学、英語・フランス語を修得していた。日本の近代化に夢をはせる、25歳の若き青年であった。

生野銀山の近代化は、政府にとって国の威信をかけた一大プロジェクト。銀本位制であった当時の日本経済にとつて、銀の増産は国を富ますために必要不可欠だった。

それは国内初の官営鉱山であり、明治政府最初のお雇い外国人が派遣されたことからもうかがえる。

海外の諸事情に精通した朝倉は、早速、最新鋭の大型設備を導入した新工場建設に着手。それに伴い、多くのフランス人技術者たちが呼び寄せられた。

こうして、工場建設に取りかかった彼らだったが、それまでに解決し

神秘のかめ壺が造る幻の芋焼酎。

「薩摩幻水」「美し里」「だれやめ」に、
気軽に飲めて味わい豊かな晩酌用!
「養甘露(芋)」「麦心(麦)」「葉隠れ(麦)」の仲間ができました!

他店では手に入らない
極上の清酒・焼酎が120 アイテム **量り売り用**
◆イベント・ギフト等のオリジナルカラーラベルできます

道の駅「但馬楽座」前

大型バス駐車可

冷えたビール
ジュースあります!

兵庫県養父市上野1060 TEL・FAX 079-664-2345
HPアドレス: <http://www4.ocn.ne.jp/~hirayama/>

酒一歩
酒楽



生野鉱山(明治時代)

なければならぬ大きな問題を抱えていた。

それは、大型機械や操業用資材を運ぶための交通路を確保すること。当時、節磨港という流通拠点をかかえる城下町・姫路へは、細く曲がりくねった播但街道を人が荷物を背負って歩くか、市川を小さな高瀬舟で下るしかなかった。

「ここに広くて馬車が通れる平坦な道があれば」。これは鉱山に関わる人々の共通の願いとなった。

しかし、立ち上がったばかりの明治政府は財政難。いくら国をあげたプロジェクトとは言え、出せる予算は限られていた。

「低予算での輸送路確保」。朝倉やフランス人技術者たちに課せられた使命は、たやすいものではなかった。

初めに考えられた市川を利用した船運は、川の掘削に膨大な費用がかかることから却下。鉄道の敷設に対しても、輸送量と建設コストとの折り合いがつかず見送られた。

「生野鉱山の近代化は夢物語なのか」。途方に暮れる関係者たち。

ここであきらめない男がいた。朝倉だつた。自ら山川の形勢を調べ、日夜、フランス人技術者たちと議論を重ねて方法を考えた。

「日本の近代化を遅らせてはいけ

ない」。熱い思いが後押ししていた。播但街道をもとに、馬車が通れる最新式の道路に造りかえるというプランだつた。

工事費用が各段に安く、馬車で物資を運べば輸送経費が8分の1になるという、経費削減の中で絞り出された案。この新道路建設案を大蔵省に提出した。

しかし、その必要性を認めながらも、大蔵省は苦しい財政状況のため、なかなか建設の許可を下さない。

低コストであることを強調し、何度も談判する朝倉。その情熱におされ、明治6年12月、ついに大蔵省は新道路開設を決定する。

これは、工事着手の5カ月後の出来事。実は大蔵省の予算がおりの前に、馬車道の建設は進められていたのだ。鉱山の開発には、輸送路の確保が絶対に必要であるという、強い信念と意志を示す、まさに命がけの談判であつた。

最高の道路を造る

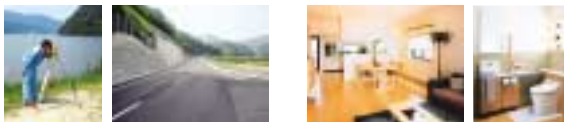
紆余曲折の中で始まった馬車道の建設。総監督には、フランス人技師レオン・シスレイが任命された。彼は、鉱山開発に従事した外国人の中で最大の功労者とされるコワニエが呼び寄せた建築のスペシャリスト。



信頼と安心の証！
公共工事
 実績多数

豊かな暮らしをサポートします

新築はもちろん！水漏れやトイレづまりも！
 どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。



どんなことでもお気軽にお見積り無料！ ☎ **0120-577-406**

新築から水回りまで！
建築なら
 全ておまかせ



● **下水道工事もおまかせ!!**
 ■ 建築設計 ■ 建築工事
 ■ 上下水道工事 ■ 住宅設備工事



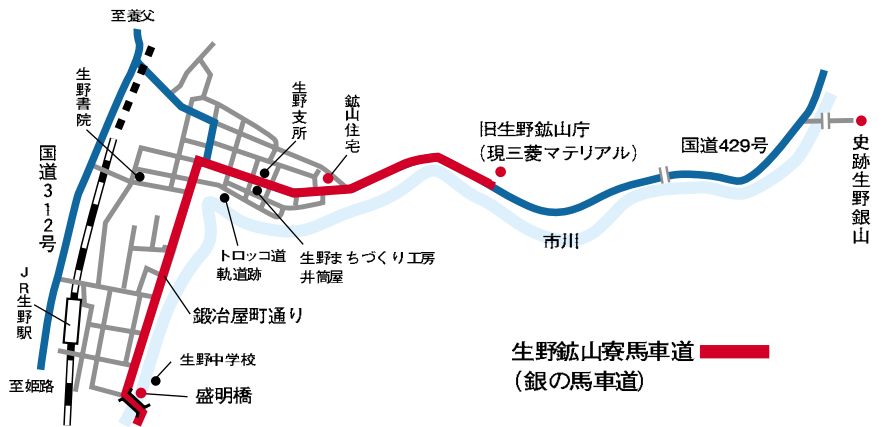
市川に架かる盛明橋と馬車のモニュメント



史跡生野銀山前にある旧生野鉱山本部の正門門柱(市指定文化財)



9月には、馬車道であった鍛冶屋町通りを中心に銀谷祭りが開催される



生野鉱山寮馬車道 (銀の馬車道)

日本で最初に西洋技術を導入した道路を造るため、最高の技術者たちが集められた。道路の工法は、当時ヨーロッパで広く使用されていた「マクアダム式」と呼ばれる最新の技術。これは、道路の入り口や回りの道、高低などをならして平坦にし、車や馬車がなめらかに走行できるようなにした現代で言う高速道路に匹敵するものであった。工事は急ピッチで進められた。2年後には、延長48・8キロに及ぶ土木工事がほぼ完成。明治9年4月、約3年がかりの難工事の末、「生野鉱山寮馬車道」は完成した。

馬車道の幅は、約5メートルないし約10メートル。道の両側には、平地でも60センチ以上の高さに石垣を築き、山のふもとや川岸など雨で崩壊の恐れがある場所は、9〜12メートルもの石垣で保護した。建設の陣頭指揮をとった朝倉。最新式の立派な道路を前にして、「未だかつてあらざるなり」と発した。明治の熱い男たちによって築き上げられた、日本最初の高速道路と言われる銀の馬車道。生野鉱山を朝出発した馬車は、その日のうちに飾磨港へ到着したという。生野銀山の近代化の礎となったことは、言うまでもない。

そして、未来へ

明治28年の播但鉄道の開通により廃止された銀の馬車道。しかしながら、その後も改修や路線変更がされ、今も一部は但馬と播磨を結ぶ県道、国道として私たちの交通を支えている。また、養父市大屋町の明延鉱山から神子畑鉱山、生野鉱山を結んだかつての鉱石の輸送路は、「鉱石の道」と命名。産・官・学が一体となった事業展開が進められている。新しい時代を夢みて、日本の近代化に人生を捧げた明治の男たち。そうした努力があったことを、生野の人たちは決して忘れていない。先人たちが残したこの産業遺産を後世の人々に伝えるべく、銀山にまつわるイベントや町並みの景観形成など、住民が主体となった取り組みがなされている。今年、開坑1200年を迎えた生野銀山。町に残る遺物は私たちに、様々な人々が銀山の発展に貢献したことを気づかせてくれる。銀の馬車道は、その一端を示す貴重な近代化遺産である。協力・資料提供：朝来市教育委員会 参考文献：『生野銀山町物語』『生野町史』『生野鉱山近代化産業遺産』

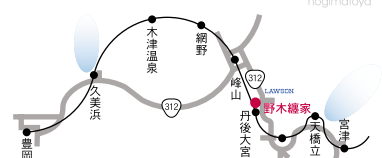
大人のあなたに... 楽しいきもの

- きものは絹 灰桜色の 芒とんぼで涼やかに... (千切屋治兵衛)
- 半襟は白で すっきりと



- 刺繍の扇子で ポイントアップ
- 帯は夏染帯 風船鶴の濃紺の帯でキリリと (千切屋治兵衛)
- 帯留めは パール感覚で 上品にまとめて
- 草履は 軽やかなアバカ麻(薬艸)を

日本の女性が美しくありますように 凛とした着こなしをご提案いたします



おしゃれきもの 野木纏家

京都府京丹後市大宮町口大野173番地
電話：0772-64-2241
URL：http://www.nogimatoya.jp/
営業時間：10:00～19:00 定休日：水曜日